新大広報

Public Relations Magazine of Niigata University
2016年冬号 No.201

［特集］

潜入！村松ステーション！

教えて！あなたのゼミ・研究室

新大発掘

Interview!!
自分の居場所
— 特別編 —

チャレポ!!
(challenge&report)

ひとりdeli

真の強さを学ぶ。
新潟大學

潜入！村松ステーション！

今回の特集では、農学部附属フィールド科学教育研究センター村松ステーションに潜入してきました！「村松ステーション」ってなに？ どんなことをしているの？ 何ができるの？ などなど、気になることをQ&A方式で解説します！

Q1 そもそも村松ステーションって？

農学部が五泉市に持つ農場と苗畑（演習林）のための施設で、正式名称は新潟大学農学部附属フィールド科学教育研究センター村松ステーションです。そのほかに水田と畑のある新通ステーションと人工林と天然林のある佐渡ステーションがあります。村松ステーションでは、主に農学部の2年生と植物生産学コースおよび動物生産学コースの3年生が実習に使用しているそうです。また、酪農教育ファーム活動の一環として、最近では、教育学部生対象の酪農教育活動も行われています。

Q2 どんな人が利用しているの？

村松ステーションでは、教育だけではなく地域連携も大事にしています。例えば、地元の農家や企業と協力して製品を研究・開発したり、地域の方からの依頼で年に数回、親子を対象に農業・酪農体験も実施しています。地域の児童や園児の農場見学のほかに、地元五泉市愛宕中学校の農場実習を受け入れています。また、農場で採れた野菜を安く販売しているので、近隣の住民の方が買いに来ることも。人気は、年に1度開催される「農場一般公開」で、特にスイカ販売は行列ができるほどだそうです。

Q3 どうやって村松ステーションまで行くの？

新潟大学前駅 —越後線 約20分— 新潟駅 —信越本線 約20分— 新津駅 —磐越西線 約16分— 五泉駅 —ふれあいバス（時計回り） 約20分— 村松公園前バス停 ……徒歩 約15分…… 村松ステーション

ちなみに車で1時間くらいなので、村松ステーション近くの温泉とセットで小旅行として見学に行くのがおすすめです！

Q4 なぜこんな遠くにあるの？

もともとこの村松ステーションは日本陸軍の小隊が駐屯していた土地で、戦後は新潟県立農林専門学校として生まれ変わりました。その後、新潟大学を創立するため、農林専門学校を母体として農学部が生まれました。最近では日本陸軍の痕跡となる歴史的遺物なども見つかっているそうです。

Q5 学生はいつでも見学できるの？

事前に連絡すれば平日は案内してくれるそうです！ 学生は卒論研究と実習以外での来場者が少ないので、ぜひ新大生のみなさんに来て欲しいとのことでした。

Q6 では、学生が行ったらどんなことが出来るの？

と、いうわけで新大広報学生スタッフが見学に行ってきました！

今回は、ヤギのえさやり体験と乳牛の見学をしてきました！ ヤギは草を持って近づくとみんな寄ってきて、とてもかわいかったです。そして、ヤギは一度地面に落ちた草は食べないという習性があることを今回の体験で発見しました。人間の匂いがつくからとか!? びっくりしました！

また、乳牛はとても大きく、柵があるので安全とわかっていても、近くにいると少し怖かったです。撫でてみていいよと言われましたが、怖くて触れなかったので少し後悔しています……。

また、村松ステーションの乳牛から搾った乳を使用したアイスミルクを試食させてもらいました！ 味は現在、ミルク・アロニア・さつまいも・えごま・かぼちゃ・青大豆きなこの全6種類があります。アロニア味を試食しましたが、濃厚なのに甘すぎず本当においしかったです！ 生協購買部のアイスコーナーでも販売しているので、ぜひ食べてみてください！

新大祭

村松ステーションで採れた農作物は新大祭で販売され、毎年好評を博しています。今年はどうでしょうか？ スタッフが取材してきました！

露店開始と同時に農学部の前には人だかりが…。村松ステーションの人気の高さがうかがえますね。スーパーで買うよりもお得なため、特にお野菜は争奪戦になります。

村松ステーションで採れたさつまいもの焼き芋！ 毎年人気のため今年は焼く機械を2つに増やしたそうです。焼きたてのお芋を2つに折れば、黄金色の実から糖分が露になって滴ります。ちょっとかじると、幸せが口いっぱいに広がりました。美味しい……！

ジャガイモ詰め放題にチャレンジ。ジャガバター、肉じゃが、カレー…夢が広がりますね(*´﹃`)ちなみに、スタッフの記録は39個でした。

また、地元五泉市の農家のグループが、手作りされた加工品を一緒に販売して、会場は盛り上がっていました。スタッフが右手に持っているものはスイートポテト、左手には米粉を使ったケーキです。

【取材・記事】石戸・川名・光安・山口

教えて!あなたのゼミ・研究室

総合大学である新潟大学にはさまざまなゼミ・研究室があります。
このコーナーでは数あるゼミ・研究室の中から2つにスポットを当て、先生、学生から魅力を聞き出しちゃいます!
第2回目は人文学部人文学科高橋ゼミと農学部応用生物化学科生物化学研究室伊藤グループにお話を伺いました。

人文学部　人文学科　高橋ゼミ

こんなことを研究しています!

高橋先生の専門分野はギリシアやエジプトを中心とする西洋の古代史ですが、ゼミでは西洋の歴史に関わる幅広い分野を扱っています。今年のテーマは西洋のファッションの歴史。毎年、テーマをいくつか提示し、ゼミ生の希望を聞いて決めています。海外異文化との接触を図るため、英語の文献を読み解きながら、内容を深めていきます。

高橋秀樹教授

ゼミ生の研究分野&高橋ゼミの魅力は?

・古代史に興味があり、今は古代の地中海世界を研究しています。(中村さん)

・小さい頃からドキュメンタリー番組などで古代エジプトが取り上げられる度、ワクワクしながら観ていました。研究するなら自分の好きなことを学びたいと考え、古代エジプトについて学べる高橋先生のゼミに入りました。色々なことを専門に勉強している人が集まっているので、へぇ、と思うことがたくさんあります。(西出さん)

・先生の知識の幅が広いので、自分たちの生きている場所が狭いんだな、と感じさせてくれます。ゼミでは訳を確認している最中に、わっと笑いが起こることも。(下田さん)

・英語の翻訳は時間がかかって大変ですが、間違いを許してくれる明るい雰囲気だから、ゼミの時間を楽しみに頑張れます。高橋先生のゼミは、オールラウンダー。分野に限らず広く教えてくださるので、いつも新しい発見があって、自分の考えの幅も広がっています。(小川さん)

・授業は、いろんな勉強をしている人たちが一瞬だけ接触する時間。いい刺激を与え合うことが出来れば、眉をしかめてばかりいる必要は無いんだよね。(高橋先生)

目指してほしい学生像

自分たちの生活とは異なる世界に積極的に関心を持ってほしいです。異世界を知ることで、自分の人生の可能性を拓こうとする気持ちが育まれると思います。想像の異世界ではどうしてもリアリティに限界があるので、実例として、過去や外国のことを知って欲しいです。知って欲しいのは、昔のこと、というよりも別世界のこと。それは古代でも中世でも良いし、現代の別の場所でも構わないと思っています。

過去のゼミでは西洋のタペストリーの歴史、中世の豪華写本、ペットの文化に関する文献を読みました。

スタッフの感想

英文をたくさん読むつらいゼミのはずなのに、笑いが起きやすいという高橋ゼミ。そこには、学生を広い知識で様々な異世界へ導く、先生の温かな眼差しがありました。取材中も笑い声の絶えない賑やかな様子から、ゼミ生一人ひとりが、自分の興味に忠実に、楽しみながら研究に励んでいる様子が伝わってきました。

農学部 応用生物化学科　生物化学研究室　伊藤グループ

こんなことを研究しています!

生物化学研究室は2人の先生が主催しており、師事する先生ごとのグループがあります。学生はそれぞれ独自にテーマを設定し、基礎から応用まで幅広く研究に取り組んでいます。一人ひとりが読んだ論文の内容を発表・ディスカッションを行う論文ゼミや中間発表は研究室メンバー全員が集まって行います。伊藤先生は植物分子生物学・応用糖質科学を専門にしており、そのひとつとして、遺伝子がデンプンの構造をどのように改変していくのかを研究しています。コメのデンプン形成に関わる遺伝子の改変によって物性を変え、様々な用途を作り出したいと思っています。

イネのカルス：種と芽の間から出る。培養したカルスに、遺伝子を導入する。

共焦点レーザー顕微鏡

○○についてちょっと詳しく! ～デンプン編～

「紙作りから化粧用のスポンジ、トンネル工事まで」

元々の物性や形の違い、さらに放射線を当てる、化合物を加えるなどの分子化学的な操作で開発された、多様なデンプンの利用用途は5000種類にも上ります。例えばトンネルを掘り進める時にも、水にデンプンを混ぜることで水が飛び散るのを抑えられますし、化粧用のきめの細かいスポンジは、成型するときに型の中にデンプン顆粒を入れ、後にそれを取り除いて作ることが出来ます。デンプンの構造は複雑で、全部を詳細にみる手法があまり無く、意外にも分かっていない部分が多い分野です。

目指してほしい学生像

技術や知識を身につけることも大事ですが、研究室で一番身につけてほしいのは、criticismです。本当にそれが正しいのか、意味があるのか、批判的に考え、確信を持つまで実験によって裏付けし、研究を論理的に進めてほしい。いずれその力が、社会に出たときに還元されると思います。自分で問題意識を持ち、それを解決するために論文を読むなどの努力をコツコツ積み重ね、自分の考えとして文章にまとめて完結させる力を身につけてくれれば良いですね。

伊藤紀美子教授

伊藤研究室の学生に聞いた!

伊藤先生の研究室は、どんな学生が多いですか?

表野さん：テーマとしてイネをやりたい、遺伝子を研究したいと思っている人が多いと思います。

中島さん：自分の場合、実験対象はイネじゃなくてもよくて、遺伝子について研究できればいいな、と思って来ました。

どのような研究を行っていますか?

中島さん：SUMOと呼ばれる、たんぱく質を修飾するたんぱく質因子について研究しています。例えばイネが高温ストレスの中で生き抜くために、SUMOがどういうたんぱく質を修飾して機能を調節しているのか、修飾する過程に作用している別のたんぱく質を見つける研究をしています。

伊藤研究室の魅力は?

表野さん：ほかの研究室と比べて、先生がすごく私たちに対してフレンドリー。もちろん研究のことも、それ以外にお酒のことなどの雑談もします。イベントも多くて、花見や歓迎会、バーベキューも毎年やっているのですが、そこに卒業生が参加することもあり、同窓生同士のネットワークも広がっています。

スタッフの感想

それぞれが独自の研究テーマを持つ生物化学研究室。インタビューに答えてくれた学生さんも、失敗ばかりで辛いこともある、と語ってくれました。明るく楽しい雰囲気の研究室で、先生も学生も気軽に話すことの出来る関係性を持っていながら、これからの農業に新たな可能性を示す研究に真正面から向き合っている様子が伝わってきました。

【取材・記事】五十嵐・藤田・渡邊

大学に眠るお宝を探れ!! 新大発掘

あまり知られていないけれど誇れるモノや、研究に必要なモノなど、新大で眠っているお宝を紹介するコーナー。
今回は五十嵐キャンパス内に点在する美術品を発掘してきました。

ここで発掘しました▶ 附属図書館

赤い日傘

作者／太田　喜二郎
（1881年～1951年）
寄贈／村山　弘義

附属図書館2階ロビー

この作品は、本学を卒業した村山氏により寄贈されたもの。附属図書館の大規模改修工事に伴い、氏が大学側に寄贈を申し入れたことで、図書館に飾られることとなった。

洋画家 太田喜二郎氏は美術関係書によると、東京美術学校で黒田清輝氏に師事した後、ベルギーで点描技法を修得し、数々の作品を世に出したとされている。

当絵画についても、陽光の下、赤い日傘を差して佇む洋装の女性が点描技法により描かれている。

太田氏は東京大正博覧会（大正2年）に当絵画と思われる『赤い日傘』を出品し、2等賞を得ている。

※点描技法とは、線ではなく点の集合や非常に短いタッチで表現する技法のこと。

参照：http://www.niigata-u-jhk.com/jigyou/index.html

ここで発掘しました▶ 人文社会科学系棟前庭

勝利の像

作者／親松　英治
寄贈／人文・法・経済学部同窓会

当時、人文・法・経済学部同窓会会長であった柳本氏から「勝利の像」を寄贈するに至った経緯についてメッセージをいただいた。

新潟大学が開学50周年を迎えるにあたり、人文・法・経済学部同窓会では、学部棟の広場に、芸術性の高いモニュメントを建立して大学に寄贈することを会員総会で決議しました。

選定に半年ほどかけて選考の結果、佐渡出身で「日展」で活躍しておられ日展審査員の経歴をもつ親松英治先生に委嘱したところ快諾いただき、オリーブの小枝をもつ裸婦像に「勝利」の像と命名、平成11年6月1日の開学記念日に関係者により盛大な除幕式を挙行することができました。

人文・法・経済学部同窓会　元会長　柳本雄司

ここで発掘しました▶ 第1学生食堂前広場

生命の川

作者／北郷　悟
（元新潟大学助教授、
現東京藝術大学教授）

この作品は、第1学生食堂前の広場が大規模改装されることに伴い、当時本学助教授であった北郷氏によって制作されたものである。平成6年3月に学生広場が完成した際に除幕式が行われ、お披露目された。中心に聳える像は人の「身体」を、周りの水や、敷き詰められた色の違う煉瓦は「川」を表しており、実は広場の煉瓦も含めて一作品をなしている。雨が地上に降り川となり、やがて蒸発して雲になりまた雨が降る―といった、自然が環境によって形を変えながら循環するように人間関係もまた然り、ということを伝えている。過去に新大広報で取材した際に、氏は「芸術はカテゴリーとしては哲学に入りますが、この作品は優しさや苦しさを同時に抱える彫刻です。時々ぼんやりと眺めて下さい」とコメントを残している。

参照：新大広報＃183

お宝募集!

この新大発掘では、皆さんの知っている実は貴重なモノや、実験には欠かせないモノを随時募集しています。「これちょっとすごいんだよ!」「これがすごく大事なんだよ!」と思うものがあったら是非、以下のアドレスにご一報ください。新大広報に載せて広めちゃいましょう!

✉nu-press@adm.niigata-u.ac.jp

【取材・記事】五十嵐・石戸・桑原

自分の居場所 Interview!! 特別編

Shingo Yamazaki

大学生活を送る上で、やりがいや目標をもって活動している、輝く大学生を紹介するこのコーナー。
今回は、特別インタビューとして、新潟大学大学院自然科学研究科修了生であり、現在は株式会社コロナの技術本部で活躍する山崎真吾さんにお話を伺いました。

ナンバーワンだという誇りをもってやりたい。この業界の先陣をきっていけるように。

1

2

2006年工学部卒業
2008年大学院自然科学研究科修了
山崎　真吾さん
（ヤマザキ シンゴ）
2008年に株式会社コロナに入社。現在は技術本部に所属し、エコ商品開発グループエコ1チームの技士補として活躍しています。

QUESTION

● 新大の中で好きだった場所…**第1学生食堂前の広場**

新大の中でも結構開放感があるので好きです。新入生が入学する時期は、そこで学生の顔を見るのが好きでした。

株式会社コロナ
1937年4月創業。主に暖房機器や空調・家電機器、住宅設備機器の製造と販売を行っている。なかでも、2001年に販売されたエコキュートという製品は世界で初めて二酸化炭素を利用したヒートポンプ式の家庭用給湯器として、有名である。

―技術本部でのお仕事内容について教えてください。
製品の設計と開発を担当しています。図面を書くだけでなく、製品企画から量産されるところまで関わっています。まず、お客様が求めているものは何かを考え、市場調査して、それを基に設計、試作し、コスト試算を行っています。そして、世の中に出していいものかをチームで確認してから量産します。また、その後のお客様へのアフターケアも大切な仕事です。社内の様々な役割を担う部署やチーム員との連携を図る取りまとめ役も業務の一環です。責任はそれだけ重いですが、常に先のことを考え、製品を作っています。

―この仕事がしたいと思ったきっかけは何ですか。
子どもの頃から工作することが好きで、ものづくりの仕事をしたい、とは思っていました。小学生の頃の工作の時間も、人と違うものを作りたいと思って、シャッター付きの木の棚を作ってみたことも。ものづくりへの感動がありましたね。大学で学んだ機械工学を生かそうと考えていたとき、企業説明会でコロナのことを教えていただいて。新潟に本社も工場もある会社は県内でも少なかったので、入社したいと思いました。

3

―新潟で働く、ということにこだわりはあったのですか。
地元が新潟なので、それはありましたね。進学の時も、高校は私立だったので、経済面からも大学は国公立に行こうと思いました。日本海側の大学の中でも学部学科の数が多いですし、歩いて通学できる距離にあったので、新潟大学を選びました。

―学生時代に経験しておいて良かったと思うことはありますか。
細かいところまで密度の濃い知識を得られたことと、工学部の工場で実際にものづくりができたことですかね。今は機械で自動化していますが、昔の人はどうやって作ったのかを考えながら、実習の最初は全て手で作りました。それが面白かったですね。
あとは、大学の管弦楽団でファゴットを担当していたのですが、実はそれもこの仕事に役立っています。楽器の音の出る仕組みが知りたいと思って、大学で音響工学を学びました。音自体を抑えるにはどうすればいいのか、どんな音を組み合わせれば音を打ち消しあうことができるのか等々、大学で学んだことが製品開発の上でも役立っています。

―逆に、後悔したことはありますか。
勉強ですかね。設計に携わったときに、大学で勉強したはずの知識がでてこないときがありました。あまり興味ない分野では、単位はとれていても、身についていなかったのだな、と実感しました。大学時代に使っていたテキストを漁って、もう一度勉強し直すことも。現役学生のみなさんにはつまらないと思う勉強でも、それをしっかりやってほしいですね。勉強する時間をつくってほしい。自由なことができるのは学生時代しかないと思うので。

―今まで関わってきたお仕事の中で苦労したことはありましたか。
他社と共同で取り組む仕事があったのですが、それぞれの事情を加味して日程を組み立てながら活動したことですかね。忙しい中で業務を整理して、何を優先してやっていくかを考えながらまとめていくのが大変でした。異なる技術を持つ他社と、一つの製品をどう作っていくか考えなくてはいけないので。
ですが、ものづくりがやりたいと思ってここに入社したので、それらの苦労が今は楽しさに変わっています。

―これからの目標はありますか。
この業界でナンバーワンであり続けたいと思っています。かといって、ずっと同じレベルのものを作り続けるのではなくて、先を見越した進化したものを作っていきたいです。新しいジャンルのものの開発もしてみたいですね。業界の中で、先陣をきってやっていかなくてはいけないと思います。

―新大生へのメッセージをお願いします。
自分の意見を出せる場に積極的に参加して、自分とまわりの意見をまとめていくにはどうしたらいいかを考えてほしいです。また、就職してからも勉強は必要なので、特に基礎を大事に勉強してほしい。あとは全力で遊んでください。私の場合もそうですが、楽しい経験がなかったら、ものづくりを楽しめないと思いますし、機能としてどんなものを持っていたら生活が豊かになるだろうかということも考えられないと思うので。

1開発製品と山崎さん
2株式会社コロナの取扱製品の一部。本学を卒業した女性が考案した製品もある
3学生時代には管弦楽団でファゴットを担当した

インタビューを終えてスタッフの感想
常に向上心を忘れずに、先を見越したアイディアを考え、全体のまとめ役として活躍する山崎さん。学生時代から変わらないものづくりに対する情熱が、仕事に活かされているのだと今回の取材を通して感じました。みなさんも、日頃の勉強を大切にしつつ、他者と積極的に関わっていくことで、自分にしかない強みを見つけられるかもしれません。

【取材・記事】川名・渡邊

Challenge & Report

チャレポ!!

このコーナーは新大広報学生編集スタッフが新大の部活・サークル活動を体験し作成した、チャレンジ魂溢れるレポートである!!
今回は糸東流空手道部にGO!!
東京オリンピックにも選ばれた空手道を体験せよ!!

糸東流空手道部

基本の姿勢と挙動について教わりました!!

Report◀

どうしてこの二人が戦わなくちゃいけないのか…という展開ではありません!

今回は特別に黒帯を貸してもらいましたが初心者です!

重心前! アキレス腱が伸びてる!

前屈立ち

突き

引手の脇を閉めることが重要です!

体勢がきつい…

手刀受け

外受け

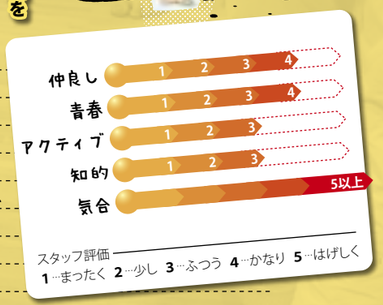
相手の攻撃を想定して受ける!

難しい… バランスが取れない…

蹴り

スタッフ感想

主将さんの丁寧なご指導のおかげで、空手道の世界を体験できました! 初めての道着は着心地が良かったです! 久しぶりの運動でストレッチすらきつかったですが、体を動かせて楽しかったです。ただ、全体的に日常ではしないようなバランスや重心のかけ方で難しく、特に「蹴り」は体勢が崩れてしまうという有様でした。そういった型が華麗にできる空手道部の皆さんはかっこよかったです!



▶Interview

●自然科学研究科2年
柳田祐太さん

●法学部2年
山城春花さん

Q活動日時と部員数を教えてください。
山城●部員数は10人で、月曜日、水曜日、木曜日、日曜日に2、3時間ずつ練習を行っています。
Q糸東流空手道部に入ったきっかけを教えてください。
山城●黎明祭で見学したことがきっかけで練習に行くようになりました。もともと武道をしたかったこともあって、入部しました。
柳田●5歳のころから糸東流空手道をしていて、新潟大学には糸東流空手道部があると聞いて入学しました。
Q練習はどんなふうに進めていますか?
山城●幹部の3年生が今足りないこと、大会に向けてしなければならないところを元に、練習メニューを決めます。
柳田●その代や時期によってメニューが変わるので、マンネリ化しないのが良いところです。
Q空手あるあるを教えてください。
山城●空手道部は瓦を割るとよく思われます。パフォーマンスでは割りますが、普段は割りません。
柳田●日常生活で「押忍」と言ってしまいます。
Q東京オリンピックの競技に空手が選ばれましたが、どう思いますか?
山城●嬉しいです!観に行ってみたいです。
柳田●観に行くつもりです。選手がメダルを取っている姿が見たいです。確かにルールはわかりにくいですが、見ていくうちにわかるようになるはずです。カッコいいので空手も見てください!
Q糸東流空手道部の良いところはなんですか?
山城●人数が少ないので一人ひとりが自分を出せるところですね。
柳田●みんなでまとまって遊びに行けるところです。あと、時間が限られている分、工夫して練習をしています。

この写真は、今年の夏に行われた北信越の団体戦で、男子が優勝、女子が準優勝した時のものです。部員全員が自分の目標に向かって日々努力しています。

公式Twitter　@Shindai_shitoo

※掲載情報は平成28年11月現在のもの

ひとり※deli

※delikatesse(独)=美味しいもの

ひとりdeliのコーナーでは、多忙な毎日を送る新大生へお手軽レシピを紹介し、食に関するお悩みを解決しちゃいます。
今回はお正月に食べ飽きた餅を使って作れるアレンジレシピを紹介します!
和の食材・餅がなんと洋風になっちゃいます!

もちピザ

材料(1人分)(184円)

もちピザ土台
- 切り餅……1個(50g)(47円)
- サラダ油……少々

ピザ風トッピング
- ケチャップ……大さじ1杯(15g)(18円)
- とろけるチーズ……1枚(18g)(24円)
- ピーマン……1/4個(10g)(6円)
- ベーコン……1/2枚(10g)(12円)

デザート風トッピング
- 板チョコ……1/2枚(25g)(44円)
- スライスアーモンド……5枚(5g)(9円)
- バナナ……1/2本(40g)(24円)
- ココアパウダー……少々

～もちピザ土台編～

1. 餅を半分の薄さ(厚さ1cm程度)に切る。皿に餅を入れ、餅が浸る位の水を注ぎ、電子レンジ(500W)で3分ほど温めて柔らかくする。
2. フライパンにサラダ油を熱し、餅を並べふたをして弱火で焼く。餅がふくらんできたら、裏側も同じように焼いて完成。

Point! 餅の水気を切ってから焼かないと、油が跳ねるので注意!

～ピザ風トッピング編～

1. ピーマンは細切りにし、とろけるチーズ、ベーコンは幅1cmに切る。
2. 出来上がったもちピザの土台にケチャップを塗り、ピーマン、ベーコン、チーズを載せ、フライパンに水を少々入れてふたをし、弱火で蒸し焼きにする。
3. チーズがとろけてきたら完成。

～デザート風トッピング編～

1. バナナは輪切りにし、板チョコは荒く砕く。
2. 出来上がったもちピザの土台にチョコを載せ、フライパンにふたをして弱火で焼く。
3. チョコが溶けたらバナナ、スライスアーモンドをトッピングする。ココアパウダーを振りかけたら完成。

コラム1

お正月に餅を食べる理由

みなさん、お正月には必ず餅を食べますよね。では、なぜ餅を食べるか知っていますか? ここではその理由を紹介します! もともとは平安時代に行われていた「歯固めの儀」に由来します。これはお正月に硬い食べ物を食べて健康と長寿を願う儀式です。また、ハレの日には普段食べない、餅や尾頭付きの魚を食べました。お正月はまさにハレの日! 普段食べないものを食べて気持ちを新たにする意味があったようです。このようにお正月に餅を食べるという行為には昔からの文化や風習が由来しています。

コラム2

餅をくっつかせずに焼く方法

普段オーブントースターで餅を焼くと、網に餅がくっついてしまいますよね。しかし、醤油を餅の上に2・3滴たらすと、網に餅がくっつかずに焼くことができます。
そもそも、餅が網にくっついてしまうのは、餅全体に熱が伝わり、餅の下の部分までもふくらむことが原因です。醤油には塩分が含まれており、醤油をたらすことで、その部分が最も高温になってふくらみます。つまり、他の部分はふくらむことなく、網にくっつくこともなくなります。お正月は餅をたくさん食べて、2017年を頑張るスタミナをつけましょう!

監修:教育学部　山口智子先生

新大広報 裏話

新 学生編集スタッフ紹介

新大広報では、冬号から本格的に新たなメンバーの活躍が始まりました!
今回は新大広報裏話のスペースを借りて、華やかな新スタッフ5人を紹介しちゃいます!!

❶新大広報の活動への意気込みは?
❷自由に自己PRをおねがいします!

藤田　英里
❶面白いものを面白いままに伝え、読みごたえのある文章を書いていきたいと思います。
❷高校の頃は悟りを開いていそうという理由からさとりんと呼ばれていました。響きが可愛いのでお気に入りのあだ名です。

嶋田　麻美
❶初めて新大広報を読んだ時、ぜひ私も作成に携わりたい! と思い参加させていただきました。スタッフの皆さんと一緒に、新潟大学にまつわる面白い情報を沢山発信していきたいです。よろしくお願いいたします。
❷最近ウクレレを始めました。201号が発行される頃には、簡単な曲のひとつくらいは弾けるようになっていたらいいのですが…。

光安　悠香
❶私は新大広報を通して新潟大学をもっと知ってもらいたくて広報のスタッフになりました。新大の魅力をたくさん伝えられるよう精一杯がんばるので、よろしくお願いします。
❷私は高校時代弓道部に入っていて、大学でも続けています。部活が忙しいときも広報の仕事が疎かにならないようしっかり取り組んでいきたいと思います。

桑原　麻衣
❶はやく仕事に慣れるように頑張ります!
❷ラーメンと旅が好きです。お金貯まったら外国行きたいです〜。

川名　裕子
❶いろいろなことに興味を持って取り組みたいです!
❷高校の時、新聞部員だったので活動に生かしていきたいです!

大学からのお知らせ

年末年始の諸注意
年末年始にかけて、忘年会や新年会など飲酒を伴う機会が増える時期です。未成年の飲酒やイッキ飲みなどの危険行為、飲酒の強要などのアルコール・ハラスメントは絶対にしてはいけません。また、休暇中の気の緩みから、思いがけない事故や事件に巻き込まれる危険性があります。休暇中も、新潟大学の学生であるという自覚を持ち、責任ある行動を心がけましょう。
万が一、事故等に遭った場合は、速やかに所属する学部等の学務係へ連絡してください。
ただし、夜間、土日祝日及び12月29日〜1月3日は守衛室 (Tel:025-262-6028) に連絡してください。

編集後記

今回の新大広報では、「新大発掘」で新大にある美術品を取り上げました。普段見ているはずのアレも実は芸術品だったんだ! と結構驚きの回になっています。また、特集の村松ステーション取材に私も参加したのですが、遠足のようで楽しかったです!

新大広報冬号の記事を書くのはこれで3回目になります。まだ実感はありませんが、今号で3年は引退です。最後の新大広報も思い出にふける時間なく締切がやってきました。

いろいろやり残したこと、できなかったことはありますが、まだ大学生活は残っているので、それまでに片づけて次のステージに挑みましょう!　**新大広報編集長　石戸　亜利咲**

[学生編集スタッフ]
川名　裕子 (法学部1年)
嶋田　麻美 (法学部1年)
藤田　英里 (法学部1年)
光安　悠香 (法学部1年)
五十嵐律矩 (理学部2年)
桑原　麻衣 (教育学部2年)
丸山　幸恵 (人文学部2年)
横山　裕香 (人文学部2年)
石戸亜利咲 (人文学部3年)
渡邊　侑奈 (人文学部3年)
山口　広大 (教育学部4年)

[職員スタッフ]
大谷めぐみ (学生支援課)
鈴木　香織 (広報室)

個人情報の取り扱いについて ■新大広報では皆様からお預かりした個人情報につきまして、責任をもって管理することをお約束いたします。■アンケートや誌面へのご意見、掲載希望他、お預かりした個人情報は新大広報の企画の参考にさせていただきます。この目的以外に使用したり、第三者に提供したりいたしません。■ご記入いただいた個人情報に変更が生じた場合は速やかに上記アドレスまでご連絡ください。また、同アドレスにご連絡いただくことによって、ご本人に限り個人情報の開示・削除・訂正をもとめることができます。

【新大広報 Back Number】
http://www.niigata-u.ac.jp/university/pr/publications/shindaikoho/
新大広報のバックナンバーは上記のURLから閲覧することができます。また、学務部学生支援課で受け取ることもできます。

新潟大学ホームページ **http://www.niigata-u.ac.jp/**

2016年冬号 [No.201]
2016年12月16日発行
編集・発行／『新大広報』学生編集スタッフ
新潟大学学務部・新潟大学広報室
印　　刷／㈱第一印刷所
リサイクル適性Ⓐ この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。